

計画的に受けて病気の予防を

予防接種はワクチンなどを接種して免疫力を付け、本物の病気を予防するためのものです。それぞれ効果的に病気が防げるように対象年齢が定められていますので、計画的に接種を受けましょう。

市では、乳幼児期に受ける定期

予防接種の間診票つづりを生後2カ月ごろに郵送しています。間診票つづりが届いたら、注意事項や同封の冊子をよく読んで、接種のスケジュールを立てましょう。

生後3カ月～1歳

BCG

BCGは結核を予防するためのワクチンです。

対象年齢が生後6カ月未満なので、まず始めにBCGから受ける

ことをお勧めします。生後3カ月を過ぎてからが望ましいです。

○次の接種：27日以上空ける

三種混合1期初回

三種混合は百日ぜき・ジフテリヤ・破傷風を予防するためのワクチンです。中でも百日ぜきは乳児がかかりやすく、重くなりやすい病気です。

1期は初回3回と追加1回に分けて行われ、初回3回は20日～56日の間隔で接種します。

○次の接種：6日以上空ける

ポリオ(1回目)

次はポリオ(小児マヒ)の予防接種です。

ポリオは2回接種します。

市で集団接種を行っています。会場と日程は予防接種の案内に同封した予定表や「わが家の健康づくりカレンダー」『広報なりた』などで確認してください。

○次の接種：27日以上(ポリオ2回目は41日以上)空ける

1～2歳

麻しん風しん混合1期

混合ワクチンを1期と2期で2回接種します。1歳を過ぎたら早めを受けてください。

○次の接種：27日以上空ける

ポリオ(2回目)

ポリオ1回目との間隔は41日以上空けてください。

○次の接種：27日以上空ける

2～3歳

三種混合1期追加

初回3回目終了後、6カ月以上空けて(標準は1年から1年半の間隔で)接種してください。

○次の接種：6日以上空ける

5～6歳(小学校就学前年度)

麻しん・風しん混合2期

来年度就学予定の人(平成14年4月2日～15年4月1日生まれ)が対象です。

予防接種の対象年齢と望ましい年齢(平成21年1月1日現在)

予防接種名	対象年齢	望ましい年齢(時期)
BCG	生後～6カ月未満	生後3カ月～6カ月未満
三種混合1期初回	生後3カ月～7歳6カ月未満	生後3カ月～1歳未満
三種混合1期追加	生後3カ月～7歳6カ月未満	初回3回目後1年～1年半
ポリオ	生後3カ月～7歳6カ月未満	生後3カ月～1歳6カ月未満
麻しん風しん1期	1歳～2歳未満	1歳～2歳未満
麻しん風しん2期	小学校就学前年度	小学校就学前年度

○次の接種：27日以上空ける
そのほかの注意事項

○子どもの予防接種には、保護者(親権を行う者または後見人)の

同伴が必要です

○体調を整えて受けましょう

○対象年齢を過ぎた場合は健康増進課へご相談ください

※くわしくは健康増進課(☎27-1111)へ。

麻しん風しん混合予防接種

中学1年と高校3年も対象に追加

平成20年4月から5年間、中学1年生に相当する年齢と高校3年生に相当する年齢の人が、新たに麻しん風しん混合予防接種の対象に追加されました。

追加されたのは3期と4期です。

○3期…13歳となる日の属する年度の初日から当該年度の末日までの間にある者(平成20年度は平成7年4月2日～8年4月1日生まれ)

○4期…18歳となる日の属する年度の初日から当該年度の末日

までの間にある者(平成20年度は平成2年4月2日～3年4月1日生まれ)

対象者には問診票を送付していますので、接種は個別に医療機関で行ってください。

■注意事項

○原則として保護者の同伴が必要です(4期対象者で既婚者は除く)

○保護者が同伴できない場合、事前に送付した問診票は使用できません。同伴できない場合の問診票を発行しますので健康増進課へ連絡してください

○妊娠している可能性がある人は受けられません

※くわしくは健康増進課(☎27-1111)へ。